

平成28年度香川県水産審議会 議事録

1 日 時 平成29年3月27日(月) 13:30~15:00

2 場 所 県庁本館12階 大会議室

3 出席者 服部委員、宇都委員、大平委員、濱本委員、持田委員、山本(久)委員、山本(啓)委員、
松本委員、青井委員

委員15名中9名が出席しており、条例第7条第2項の規定により、本審議会が成立。

4 議題

条例第7条第3項の規定により、会長の服部委員が議長となり議事を進行。

(1) 報告事項

① 香川県水産業基本計画の進捗状況について

事務局より、資料に基づき香川県水産業基本計画の進捗状況について説明があった。

② 専門部会の開催状況について

イ) 山本(啓)委員より、栽培・養殖・流通部会の概要について報告。

平成28年度種苗生産結果及び平成29年度種苗生産等計画(案)並びに平成29年度魚類養殖にかかる対応策(案)について、原案のとおり承認された。また、委員から、クロメバル種苗のさらなる増産要望やクルマエビの放流効果に関する意見があった。

ロ) 濱本委員より、漁港・漁場整備部会の概要について報告。

平成29年度漁港整備事業計画(案)、平成29年度漁場整備事業計画(案)及び圏域総合水産基盤整備事業計画の方向性(案)、香川県の藻場ビジョン作成の考え方(案)について、原案のとおり承認された。

ハ) 松本委員より、担い手対策部会の概要について報告。

平成29年度漁業の担い手確保・育成関係事業の実施計画(案)について、原案のとおり承認された。また、香川県漁業士の認定及び解除について、指導漁業士候補者5名は全員適格であると決定されたが、指導漁業士1名の解除については、事実確認のため一時保留することとなった。

各部会の開催状況について、委員から質問等特になし。

③ 平成29年度水産関係予算について

事務局より、平成29年度水産関係予算について説明。

委員：県全体の予算が減少する中、農政水産部の予算が増加しているのは何故か。

事務局：土地改良関係の予算が国の予算増もあって伸びている。ここ数年農政水産部では、国の施策と相まって県単独の施策を増やすなど、毎年6~8%の高い伸びで支援を増やすことができている。

委員：漁業の担い手確保・育成対策事業で情報発信の取組みを行うとあるが、具体的にはどのような形で行うのか。

事務局：主な方法としては、PR用のプロモーションビデオを作成してインターネットで提供する。

希望者はリンクから詳細を見ることができる。また、大阪、東京等で行われる就職懇談会な

どへも資料を積極的に提供していく。

委員：オリーブハマチ飼料対策について、生産途中でオリーブ葉の不足が判明すれば現場は混乱する。県産のオリーブ葉が確保できればベストであり、関係者で早めに協議しながら進めて欲しい。

事務局：オリーブの生産自体、近年雨が多いこともあり、炭疽病がまん延している。病気の予防には農薬が必要だが、農薬を使用すれば飼料としてオリーブ葉を使用できない。先のことも見据えた上でどのような方向性とするか、関係団体の方々とも協議しながら、検討していく必要があると考えている。

(2) 審議事項

香川県漁業士の認定について、指導漁業士の候補者5名に関する意見書及び身上調書に基づき事務局より説明。候補者全員を適格者として答申することとなった。指導漁業士1名の解除については、事実確認を行った後、認定解除を行うこととなった。

(3) その他

特段の意見等なし。